

様式3 記載例

功績概要

候補者氏名		推薦部局名	
<p>(概要)</p> <p>昭和47年4月から平成7年3月までの23年間、また、平成7年4月から現在までの23年余間、埼玉県〇〇協同組合の理事、組合長の要職にあつて、組合員相互の連絡調整をはじめ、資質の向上、技術開発に力を入れた。</p> <p>その他、民生委員・児童委員、市議会議員等として地域社会に貢献した。</p>			
<p>(功績)</p> <p>1. 埼玉県〇〇協同組合理事(昭和47. 4. 1~平成7. 3. 31)</p> <p>戦後の復興期である昭和47年に理事に就任し、以来23年間の長きにわたり、組合の基盤づくりに尽力した。</p> <p>この間、職務に忠実に献身し、新技術の開発、組合員の研修制度の創設、連絡機関の充実等に努めた。</p> <p>(1) 〇〇方式の開発に指導的役割を果たした。これによって、従来より品質が向上し、人件費、燃料費ともに大幅に節減できた。これは、従来、1月あたり〇〇klの重油を使用していたのが、同量を生産するのに〇〇klですむようになったこと、また、〇年〇月の見本市において、〇位に入賞したこと等によっても証明されている。</p> <p>(2) 組合員の資質の向上のために、研修制度を創設した。氏は中心となって、月1回、県下各地区で講演会、研究発表会等を開き、各地区の支部の指導をはじめ、組合員間の研究熱を高めた。これによって、当産業においては、全国的にみても、特許獲得数が多い。</p>			

- (3) 組合員相互の連絡調整のために、各支部の充実及び、組合員の福利の増進に寄与した。各支部の活動を活発にさせるために、最新の情報を伝達し、また、各支部から情報を吸収するために、〇〇情報センターを新設した。これによって、組合員の自覚が芽ばえ、団結が一層強くなった。
2. 埼玉県〇〇協同組合組合長(平成7. 4. 1~現在)
- 従来の活躍が認められて、平成7年4月に組合長に就任した。理事時代の経験を生かし、販売ルートの開拓、他産業との協調に努め、組合長として、幅広く活動している。
- 特に、輸出に強い関心を持ち、飛躍的増大を果たした。
3. 民生委員・児童委員(昭和44. 4. 1~62. 3. 31)
- 温厚な人柄が慕われ、18年間、地域の福祉に尽力した。この間の取扱件数は〇件、困難な案件に遭遇したこともしばしばであったが、その都度、献身的に尽力し、解決に導いた。
4. 〇〇市社会福祉協議会理事(昭和48. 4. 1~62. 3. 31)
- 14年間にわたり、地域社会の福祉の増進に寄与した。この間、町ぐるみの慈善バザーやコンサート等を開催し、〇年には、〇〇基金を設立し、恵まれない子供たちのために尽力した。
5. 〇〇市議会議員(昭和62. 4. 30~平成7. 4. 29)
- 2期8年間に渡り、市議として、地元の発展に貢献した。
- 特に、学校校舎の建築に尽力し、その設備の充実是他地区の模範となった。